

オペラの衣裳と舞台美術

煌く「アイーダ」の世界

参加費無料

ただし、当日有効の観覧券が必要
いずれも予約不要

聞いてみると、 オペラがもっと楽しくなる！ 講演会

I 新国立劇場 オペラの舞台裏

華麗さを誇る新国立劇場の「アイーダ」。その世界が舞台上に生み出されるまでの道のりを、技術監督の目から語ります。オペラが初めての方も、舞台づくりに携わる方も。

魅惑のステージは
どうつくられる？

[日時] 9月8日(土) 11:00-12:30

[講師] 小西弘人 (新国立劇場 技術部技術総括室長、テクニカルディレクター)

1980年桐朋学園短期大学芸術学科演劇専攻卒。以降、フリーのスタッフとして、劇団俳優座演出部を皮切りに、メトロポリタン・オペラなど海外歌劇場の日本公演や、無名塾、文化座など劇団の公演にも携わる。1997年の新国立劇場開場より、同劇場の技術部舞台課に所属。2007年よりテクニカルディレクター、現在は技術監督も務める。

II 華麗なる衣裳、光の不思議な力

～巨匠マリアノ・フォルチュニと舞台芸術～

絵画・写真・テキスタイル・服飾デザインの分野で革新的な才能を発揮したマリアノ・フォルチュニ。その多彩な創造力が、リヒャルト・ワーグナーの提唱する総合芸術としての舞台づくりに結集した！

アーティストが
オペラを変えた！

[日時] 10月6日(土) 14:00-15:30

[講師] ブルース・ダーリング (美術史家)

早稲田大学大学院文学研究科修士課程（日本美術史専攻）修了、ミシガン大学大学院博士課程（東洋美術史専攻）修了。タフツ大学助教授、ハーバード大学日本学研究所研究員、九州保健福祉大学教授を歴任。主な著書：『図説 ウィリアムモリス』（河出書房新社）、「癒しの建築の可能性」
現在の研究分野：マリアノ・フォルチュニ、福祉・医療における芸術の役割

会場 本郷新記念札幌彫刻美術館 本館研修室

〒064-0954

札幌市中央区宮の森4条12丁目

Tel.011-642-5709

交通アクセス

- 地下鉄東西線「西28丁目」駅バスターミナル2番のりばから
山の手線循環西20乗車（約5分）、
「彫刻美術館入口」下車、徒歩約10分
- 市内中心部より車で約15分、無料駐車場あり（10台）

開催中の展覧会

オペラの衣裳と舞台美術 煌く「アイーダ」の世界

会期：7月27日(金)～10月25日(木)

開館時間：10:00～17:00（入館は16:30まで） 休館日：月曜日 ただし9/17(月祝)、9/24(月振)、10/8(月祝)は開館し、9/18(火)、9/25(火)、10/9(火)は休館

観覧料：一般600(500)円、65歳以上500(400)円、高大生400(300)円、中学生以下無料

※()内は10名以上の団体料金

